

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 3 号

平成30年6月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 高島 俊幸

6月4日にプール開きを行い、梅雨の合間をぬって、各学年とも水泳に取り組んでおります。健康、安全に留意しながら、泳力の向上に努めます。

本年度の学校づくり PartⅢ

いじめゼロに向けて～思いやりのある子ども～

◇ いじめゼロ宣言集会（6月29日）

いじめのない、思いやりのあふれる学校にするため、次の取組を行いました。

- いじめゼロリボンの着用
- いじめに関するアンケート調査の実施
- いじめに関する内容（「人権尊重」、「思いやり」など）を扱う授業の実施
- いじめゼロにつながる図書の紹介

これらのまとめとして、児童会主催により全校児童で「いじめゼロ集会」を実施しました。

まず、実行委員会と担当の先生でつくった、「いじめのない明るく元気な学校にしよう」のプレゼンテーションが発表されました。

次に、各学級のスローガンと作成した掲示物が発表されました。

そして、スローガンの表彰と縦割り班で協力して行ったドッジボール大会の表彰を行いました。児童主体の、思いやりに満ちた集会ができました。スローガン等は廊下に掲示し、集会での決意を学級やその他いろいろなところで意識付けを図っていきたいと考えております。

◇ なかよし集会（6月29日・ロング昼休み）

午前中の「いじめゼロ宣言集会」に引き続き、午後のロング昼休みには縦割り班で仲良く遊ぶ「なかよし集会」を行いました。代表委員の進行でみんなで協力して行うゲームに楽しく取り組みました。いじめについて真剣に考え、縦割り班で仲良く遊ぶことを通して相手への思いやる心を育てていきたいと考えています。上級生が下級生を手助けしたり、下級生は上級生に笑顔で頼っている姿がたくさん見られました。

地域とともにある学校

◇ 土曜授業（6月2日）

学校週5日制での土曜日、児童の生活の場は家庭、地域です。児童が、家の人や地域の方と多様な体験をすることにより、興味や関心を広げたり、感謝の気持ちを育てたりします。

地域の方や関係機関の参画を得て実施した、主な授業を紹介します。





外部講師の音楽の先生から楽しいリズム遊びと鍵盤ハーモニカを教してもらいました。(1年)



食品会社の方を講師に招きお家の人も加わりゆばづくりをしました。おいしかったです。(2年)



障がい福祉サービス事業所の職員の方と車椅子体験をしました。パソコン教室もありました。(3年)



建築関係の会社の方を講師に招きのこぎりの使い方を教わり実際に木材を切りました。(4年)



自動車会社の方を講師に招き「ものづくり」出前講座を行いました。みんな真剣でした。(5年)



下野新聞社の方を講師に招き新聞を使った授業を受けました。実際に新聞にも載りました。(6年)

◇ 地域からのプルタブを贈呈(6月9日)

本校は、城山地区にある障害者支援施設「謫謫会(あいあいかい)」との交流を10年以上続けています。活動の一環として、「おもいやり広報委員会」を中心に、プルタブを集めており、家庭・地域からも、まとまったプルタブを届けていただいています。800kg集まると、車椅子と交換でき、これまでに2台を贈呈しました。

9日(土)、謫謫会から「ほたるの集い」に招待いただきましたので、委員会の6年生児童5人と担当職員とで参加し家庭・地域からのプルタブ50kgを届けました。思いやりに感謝いたします。

安全・安心な学校

◇ 交通安全教室(6月18日)

宇都宮市役所生活安心課交通安全グループの職員の方を講師として招き「自動車の曲がる合図や自転車のヘルメット着用の重要性」「運転手から見た死角の範囲」「自動車の内輪差」について学びました。そして、ダミー人形を使った自動車との衝突実験も見ました。時速35キロの自動車でもぶつかるるとすごい衝撃があり、交通事故の恐ろしさを感じました。交通安全教室で学んだ事を忘れず安全な生活を送ってほしいと願っています。

